



# 玉川通信

学校だより NO.4  
平成29年度7月号  
昭島市立玉川小学校  
校長 稲垣 達也

## 東京都道徳教育推進拠点校として

小中学校では、学校のすべての活動を通じて、道徳教育を行っています。特別の教科「道徳」は、その要（かなめ）となるものです。日常の様々な場面に含まれる道徳的価値について、道徳の授業で

- ① 不十分なところを補い（補充）
- ② 主体的な自覚にまで深め（深化）
- ③ 諸価値を関連付け（統合）ます。

### 朝のあいさつ【礼儀】



・真心をもって接する

### 靴を揃える【節度】



・身の回りを整える

### 外遊び【友情/信頼】



・互いに理解し合う

### 朝の読書【感動】



・気高いものと出会う

### 国語【真理の探究】



・物事を多面的に見る

### 社会【郷土愛】



・地域社会を知る

### 理科【自然愛護】



・自然環境を大切にする

### 外国語活動【国際理解】



・他国の文化を知る

### 給食当番活動【勤労】



・協力して準備する

### 班で給食【相互理解】



・互いの話を傾聴する

### 掃除【公共の精神】



・進んで掃除する

### 飼育委員【生命尊重】



・命あるものを大切にする

### 図書委員【自律/責任】



・自分の役割を果たす

### 和太鼓【伝統文化の尊重】



・伝統文化を継承する

### 合唱団【努力と強い意志】



・合唱団に取り組む

### 日光移動教室【畏敬の念】



・美しいものに感動する

本校では、東京都及び昭島市の研究指定を受け、特別の教科「道徳」として「道徳的諸価値について多面的・多角的に考え、人間としての生き方について多様な視点から議論することを通して、一人一人の道徳性を養うこと」をめざしています。今年も、評価の在り方を含め、市内の学校に発信していく予定です。



## 豊かな読書活動を目指して

担当 工藤 尚子

玉川小では、年2回の読書旬間を設定し、子供たちの読書習慣の定着を目指しています。玉川小の子供たちは、本好きで自分から進んで読書をする子供が多くいる一方、生活の中で読書の習慣が身に付いていない子供もおり、二極化の傾向があります。

そこで、5月31日から6月13日の春の読書旬間では、日頃、図書館に足を運ばない子供たちにも、この機会に図書館に通い本に親しんでもらおうと、図書委員会の子供たちが様々な取組を企画しました。スタンプラリーや図書クイズは、低学年の子供たちに人気で、スタンプを集めて図書委員特製のしおりをもらおうと、休み時間にはたくさんの子供たちが本を読み込みに図書館に集まりました。

そして、夏休みには、子供たちにとってもっと居心地のよい図書館になるように図書館の大改造を行います。子供たちが本に触れる機会を増やし、楽しんで読書ができるようにすると同時に、本を活用する力も身に付けられるよう、調べ学習コーナーを充実させていきます。

## たてわり班活動

担当 白土 朝子・花田 耕仁郎

### 【全学年が楽しく遊べるように一人一人が積極的に行動するたてわり班活動】

玉川小学校では、「1年生から6年生までが仲良くなり、お互い助け合いながらよりよい学校をつくっていく」ことを目指しています！！

たてわり班は、1年生から6年生まで約20人で班が構成されています。1つの教室に、2つの班が集まり、45分間活動を行っています。1回1回のたてわり班活動が有意義なものになるよう、6年生の班長が中心となって計画を立てたり、振り返りを行ったりしています。高学年が役割分担をして進める中で、様々なことを学んでいます。そんな6年生の姿を見て、「6年生かっこいいな。」「もっとたくさん遊びたいな。」と下級生から声が上がっています。

今後もこのたてわり班活動を通して、たくさんの心温まる関わり合いが見られることを期待しています。

## 安全で安心してすごせるように

担当 花田 耕仁郎

### 「玉川小のやくそく」の再確認を！

各教室に、「玉川小のやくそく」が掲示されています。「学校に来るときは、通学路を通りましょう。」「子ども同士で、お金を持って遊ばないようにしましょう。」など、みんなが安全で安心して生活を送れるようにするために約束（決まり）があります。保護者の皆様にお配りしてある「玉っ子ハンドブック」にも載せてあります。もう一度、「玉川小のやくそく」や学校生活における決まりなど、ご家庭でご確認・ご指導よろしくお願いいたします。

### スマートフォン・オンラインゲームの扱い方に注意

子どもたちの間で、スマートフォン等の機器を使用したSNSやインターネットを介したゲームが流行しています。これらを使用した友達同士のトラブルは、見つかった時点でかなり深刻な状態になっていることが、ほとんどです。子どもたちが安心・安全に健やかな人間関係を育てていくために、保護者の皆様におかれましては、お子さんの使用状況をしっかりと確認してください。また、お子さんと話し合っ、ご家庭でしっかりとルールを決めて安全に使用してください。

### 水筒持参について

お子さんに水筒を持たせる場合は、連絡帳にて担任に申し出てください。なお、水筒の管理は、各自でしっかりと行ってください。また、必ず毎日持ち帰るようにご家庭でご指導ください。